

中国の大地震の原子力関係の影響について（10）

20. 6. 11 10:30

原産協会国際部

四川省にある原子力施設への地震の影響について、関係機関ホームページを通じて得た続報を以下の通りお伝え申し上げます。

関係機関ホームページ情報

(1) 国家環境保護総局

2008-6-6

「環境保護部（省）は地震被災地域の原子力・放射線安全の最新状況を発表
50の放射線源はすべて回収完了」（中文概要仮訳）

- ・ 環境保護部（省）幹部は本日、四川の地震被災地域で安全性が心配された50の放射線源は現在までに全て回収し、被災地域の各原子力施設はいずれも安全に管理された状態にある、とメディアに発表した。
- ・ 同幹部によれば、地震後、被災地域の原子力・放射線安全の万一の喪失がないよう、党中央、国务院の一元配置にもとづき、環境保護部はただちに緊急対応計画を発動し、地方環境保護部門に対し6つの州、市の被災地域にある228の放射線源利用企業・機関を全面的に調査し、あわせて放射線源の安全を評価し、うち倒壊した建物の下敷きになったり、倒壊の危険のある建物のなかに残されたりした50の放射線源を緊急に回収した。現在、環境安全の心配のある50の放射線源は全て回収を完了した。
- ・ 最近メディアが関心をもつ「被災地域の放射線源の数量の不一致」の問題について、同幹部は、地方環境保護部はそれぞれの放射線源利用企業・機関に対し、安全性の心配のないいくつかの放射線源もあわせて回収するよう求めたため、実際の放射線源の回収数は50を超えた。
- ・ 現在、被災地域の各原子力施設はいずれも安全に管理された状態にある、放射性物質の環境への漏洩はない。

(2) 国家環境保護総局

2008-6-6

「陝西放射線ステーションは放射線源を安全に処置」（中文概要仮訳）

- ・ 四川地震により陝西省各地はさまざまなレベルの影響を受けたが、漢中市、宝鶏市の揺れは大きく、建物の倒壊など深刻な被害を受けた。
- ・ 陝西省環境保護局はただちに放射線事故対応計画を発動した。
- ・ 5月19日、省放射線ステーションは漢中市環境保護局から、同市の6企業の放射線源

は安全が懸念されるため速やかな措置が必要との報告を受けた。

- ・ 省放射線ステーションは、5月20日、漢中市勉県、南鄭、洋県の6企業の放射線源の安全を調査し、勉県の定軍山セメント有限公司、陝西百事特殊紙業有限公司、中材漢江有限公司の7つの放射線源の安全には危険があり、地震の影響により被ばく事故が起こる可能性のあることを発見した。
- ・ 省放射線ステーションと漢中放射線ステーションは、「放射性同位元素・照射装置の安全・防護条例」の関連規定に照らし、ただちに、これら3企業に放射線作業停止を命令し、7つの放射線源は陝西省都市放射性廃棄物貯蔵庫に貯蔵された。
- ・ 省放射線ステーションは、この地震の影響がある間、放射線源の貯蔵プロセスを単純化し、速やかに安全性の危険を取り除き、放射線安全を確保する。

(3) 国家環境保護総局

2008-6-3

「陝西省環境保護局幹部 再び漢中市入り 被災状況を検査 作業員慰問」
(中文概要仮訳)

- ・ 地震により陝西省は多くの被害を受けた。環境保護関係の設備被害も大きい。
- ・ データによれば、漢中市の環境保護システムの損失は2,030.5万元。
- ・ 全市の9つの環境モニタリングステーション、12の環境監視機構、市の環境普及情報センター、危険廃棄物管理監督事務所などの損失は、計器設備174台、258.5万元（うち、監視113台、86万元。観測58台、141.5万元。放射線58台、31万元）。

以上